

統合報告書2025

JGC Report

Enhancing planetary health

JGC’s Purpose and Values

2040年に向けて日揮グループは、パーパス(存在意義)を道標に、グループ一丸となって共通の価値観を持ちながら、これまでに培ってきた能力や実績を駆使することで「Planetary healthの向上に貢献する企業グループ」への変革に挑戦しています。

Purpose

私たちの存在意義

Enhancing planetary health

Values

私たちの価値観

私たちは、共通の価値観を持って行動します。

4つのちから

2つの誓い



日揮グループが今後も持続的に成長していくためには、足元の環境変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、産業と社会の発展に貢献するという創業以来の一貫した経営姿勢を、「人と地球の健やかな未来づくりに貢献する」という、長期的でグローバルな視座に拡張し、自らを変革していく必要があると考えています。

この考えのもと、日揮グループは自らのパーパス(存在意義)を、“Enhancing planetary health”と定義しています。

「“人と地球”の健康は密接に関係しており、この2つを追求していくことで、豊かな未来を創っていく」というメッセージを込めています。

主要5社を中心とした2つの事業セグメント

主要事業会社		ビジネスモデル
総合エンジニアリング事業	日揮グローバル株式会社 (海外分野)	EPC*事業(設計・調達・建設工事) 各種プラント・設備の事業化調査(FS)役務、基本設計(FEED)役務、EPC*役務を提供 ※ EPC : Engineering, Procurement and Construction プロジェクト遂行のフロー 事業化調査 FS 基本設計 FEED 設計 Engineering 調達 Procurement 建設工事／ 試運転 Construction 保全(メンテナンス) 主に国内の石油精製・石油化学プラントを対象にデイリーメンテナンス、シャットダウンメンテナンスサービスを提供
	日揮株式会社 (国内分野)	プロジェクトマネジメントコンサルティング(PMC) EPCに係る豊富な知見と実績を活かして、顧客とコントラクターの間を取り持ち、プラント・設備の実現をサポートするコンサルティングサービスを提供
機能材製造事業	日揮触媒化成株式会社	触媒、ファインケミカル、ファインセラミックス製品の研究開発、企画、製造
	日本ファインセラミックス株式会社	ビジネス遂行のフロー 研究開発 R&D 企画 Marketing 製造 Manufacturing 販売 Sales
その他	日本エヌ・ユー・エス株式会社など	コンサルティング、ライセンス、事業参画、プラットフォーム 各種調査、解析・評価、制作支援などのコンサルティングサービスや、各種分野の事業参画など

□ 事業概況 P.103

拠点・従業員数

海外主要拠点数

16カ国22拠点



国内拠点数

34拠点

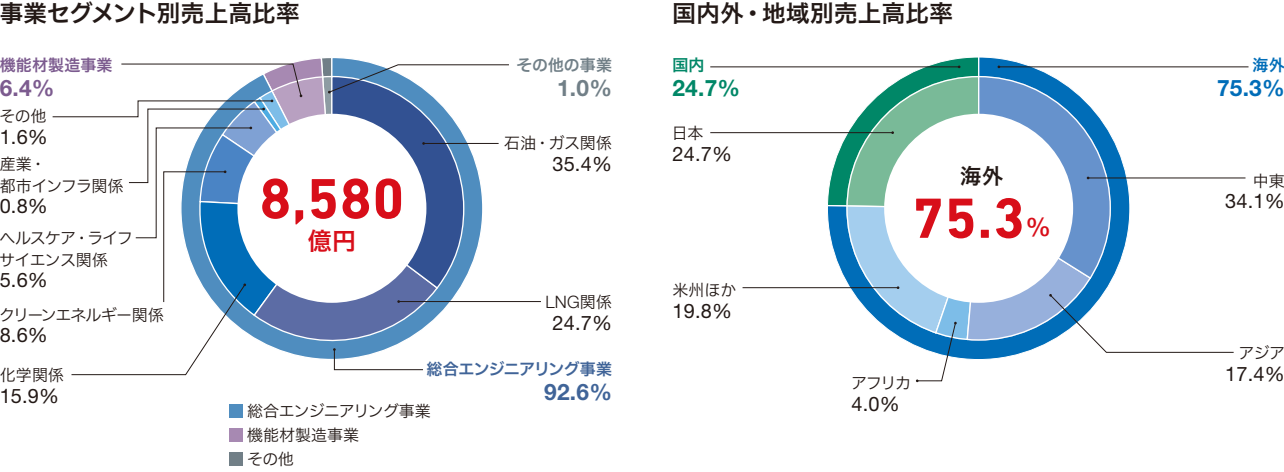


連結従業員数 (2025年3月31日現在)

8,365人



2025年3月売上高



世界のLNGプラント
完工実績

30%以上

当社グループが設計・建設したプラントでは、世界の生産量の30%を占めるLNGが生産されています。



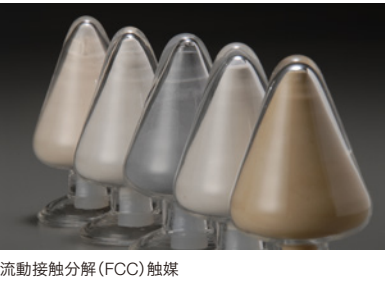
外洋に設置可能な完工済みFLNGプラント

4分の3に関与

当社グループでは、波の影響の強い外洋に設置可能な完工済みFLNGプロジェクト4件中、3件に関与しています。

80カ国20,000件以上のプロジェクト遂行実績

当社グループは、EPCプロジェクトなどの遂行を通じ、顧客の事業活動を支える各種プラント・施設を実現しています。その実績は世界80カ国2万件以上におよび、世界各地の顧客から当社グループのパフォーマンスは世界最高水準と評価されています。



流動接触分解(FCC)触媒
ハードディスク研磨用シリカゾル

国内シェア第1位

当社グループでは、触媒、ファインケミカル、ファインセラミックスの3つの分野を中心に製造・販売を行っており、特定の製品では高いシェアを実現しています。とりわけFCC触媒は世界でも有数のシェアを獲得しており、世界中の製油所で使用されています。

2040年に目指す姿

5つのビジネス領域で
Planetary healthの向上に
貢献する企業グループ

人と地球の豊かな未来に
素材で貢献

エネルギーの安定供給と
脱炭素化の両立

医薬・医療を通じた
人の健康への貢献

高機能材

環境負荷の
低い資源活用
の実現

エネルギー
トランジション

環境配慮型の
産業・都市
インフラの実装

ヘルスケア・
ライフ
サイエンス

資源循環

産業・都市
インフラ

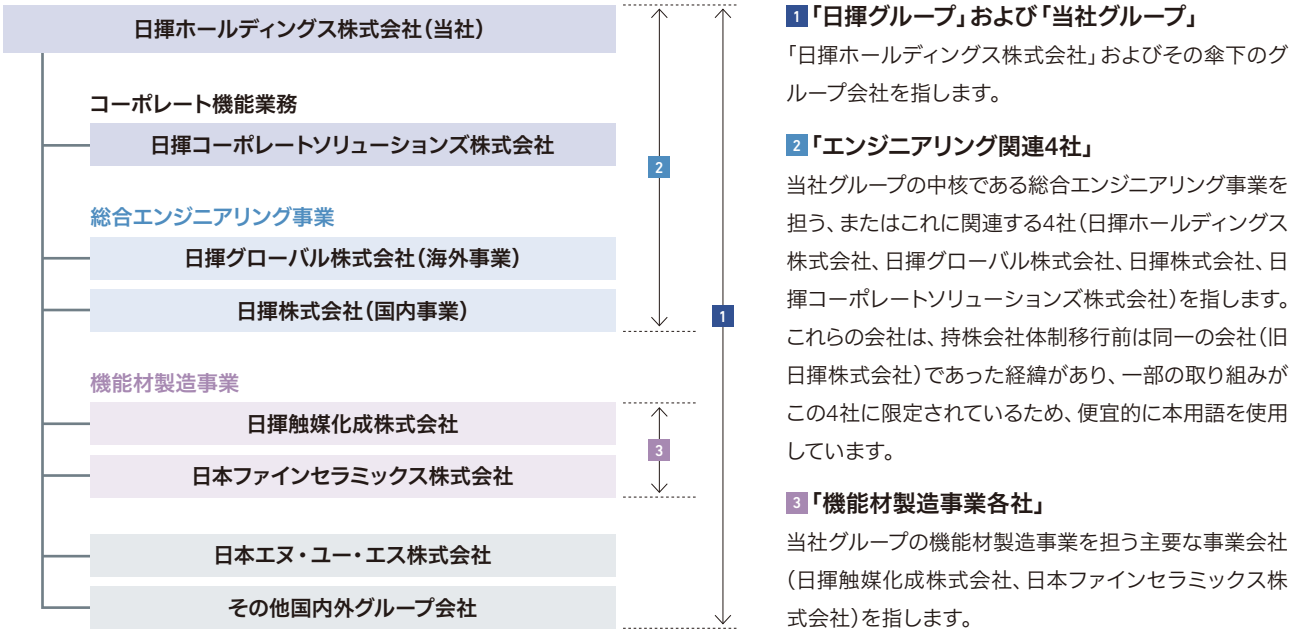
編集方針・目次

編集方針

本報告書の発行目的

当社は、2015年から「JGC Report」を発行し、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指す当社グループの企業活動を紹介しています。当社は本報告書を株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション・ツールとして活用し、引き続き建設的な対話を通じて、持続的な成長を目指していきます。

報告対象組織



- 1 「日揮グループ」および「当社グループ」**
「日揮ホールディングス株式会社」およびその傘下のグループ会社を指します。
- 2 「エンジニアリング関連4社」**
当社グループの中核である総合エンジニアリング事業を担う、またはこれに関連する4社(日揮ホールディングス株式会社、日揮グローバル株式会社、日揮株式会社、日揮コーポレートソリューションズ株式会社)を指します。これらの会社は、持株会社体制移行前は同一の会社(旧日揮株式会社)であった経緯があり、一部の取り組みがこの4社に限定されているため、便宜的に本用語を使用しています。
- 3 「機能材製造事業各社」**
当社グループの機能材製造事業を担う主要な事業会社(日揮触媒化成株式会社、日本ファインセラミックス株式会社)を指します。

報告対象期間

2024年4月～2025年3月(2024年度)を原則としつつ、一部に対象期間前後の活動内容を含みます。

将来の見通しに関する注意

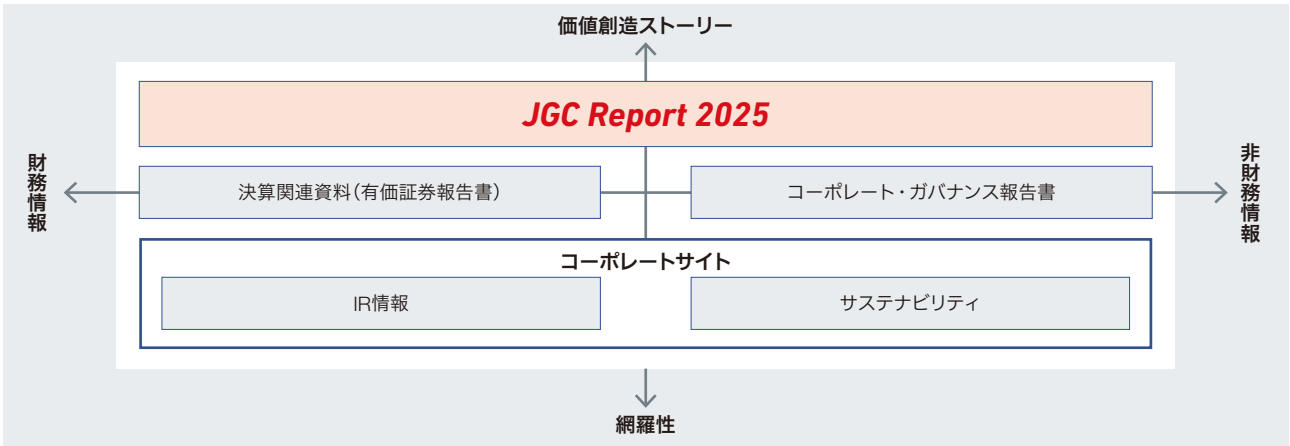
本報告書にて開示されているデータや将来予測は、発行時現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。

参照ガイドライン

編集においては、IFRS財団やWICIなどが推奨する国際統合報告フレームワークや経済産業省による価値協創ガイダンスを参照しています。

本報告書の位置付け

本報告書では、当社グループならびに社会にとって特に重要度が高い情報を集約して掲載しています。財務・非財務にかかわるより詳細かつ網羅的な情報については、当社ウェブサイトやその他の開示書類をご参照ください。



Chapter 1	Chapter 2	Chapter 3	Chapter 4	Chapter 5	Chapter 6	Chapter 7
Introduction	Management Message	What Drives JGC	Growth Strategy	Sustainability & Governance	Business Overview	Data & Other Information

目次

「JGC Report 2025」では、7つのチャプターに分け、マネジメントメッセージや持続的成長に向けた日揮グループの戦略、経営資本拡充の取り組みなどを紹介しています。

Chapter 1 Introduction	62	人的資本への取り組み
1 JGC's Purpose and Values	70	人権の尊重
3 日揮グループ At a Glance	72	社員の人権に関する取り組み—日揮協議会
5 編集方針・目次	73	HSSEの取り組み
Chapter 2 Management Message	76	品質マネジメント
7 CEOメッセージ	77	知的資本への取り組み
15 CFOメッセージ	79	ステークホルダーエンゲージメント
Chapter 3 What Drives JGC	80	IR・SR活動
23 価値創造の歴史	81	役員一覧
25 事業ポートフォリオの変遷	83	社外取締役役メッセージ
27 日揮グループの価値創造プロセス	86	コーポレート・ガバナンス
29 日揮グループの経営資本	95	リスクマネジメント
30 価値創造を支える強み	97	コンプライアンス
35 特集：新技術の社会実装でも活きる日揮グループの強み ～エネコートテクノロジーズ×日揮～		
Chapter 4 Growth Strategy		
39 日揮グループのマテリアリティ(重要課題)		
41 長期経営ビジョン「2040年ビジョン」		
43 中期経営計画「BSP2025」		
Chapter 5 Sustainability & Governance		
53 サステナビリティ・マネジメント		
55 気候変動への取り組み		
59 CHROメッセージ		
Chapter 6 Business Overview		
101 事業別サマリー		
103 事業概況		
Chapter 7 Data & Other Information		
109 財務・非財務ハイライト		
111 財務数値経年推移		
113 ESGデータ経年推移		
115 連結財務諸表		
120 グループ会社一覧		
121 株式・株主情報		
122 会社概要・用語集		

「JGC Report 2025」のポイント

2025年度の「JGC Report 2025」では、2023年度および2024年度は厳しい業績結果であったものの、当社グループが掲げる長期経営ビジョン「2040年ビジョン」の方向性は変わらず、EPC遂行体制の早急な立て直しを図りながら、持続的な成長に向けた取り組みを着実に推進していることをメインメッセージとしています。制作にあたっての主な特徴は、以下の3点です。

- 1. 海外EPC遂行体制の立て直し**
2023年度および2024年度の厳しい業績結果の主要因となった海外EPC事業に関しては、その原因や課題および対応状況について、P.37から始まる「Chapter4：Growth Strategy」における「中期経営計画『BSP2025』」に記載しています。本報告書では、読者の皆さまに少しでも理解を深めていただけるよう、図表を交えながら、可能な限り具体的に取り組み内容を紹介しています。
- 2. “What Drives JGC”**
当社グループが持続的に成長していくためには、EPC遂行体制の早急な立て直しに取り組むと同時に、これまで積み上げてきた当社グループの強みや資本を、引き続き強化していくことが重要と考えています。そのため本報告書では、当社グループの成長の歴史や価値創造プロセス、経営資本や強みなどを、P.21から始まる「Chapter3：What Drives JGC」としてまとめました。また、特集では、新規事業におけるパートナー企業の担当者さまとの座談会を通じて、当社グループの強みを紹介しています。
- 3. 非財務情報の継続的な開示強化**
「Chapter5：Sustainability & Governance」において、今回もESG情報を含む非財務情報の開示の強化に取り組みました。2025年度は、株主・投資家の皆さまとの対話の深化に向け、当社グループの取り組みをより具体的にイメージしていただくための情報のほか、取り組みの背景にある考え方や進捗状況、課題等を明確にし、理解を深めていただく構成としています。

私たちは、引き続きステークホルダーの皆さまとの対話の機会を大切にしていまいります。是非、忌憚のないご意見をいただけますと幸いです。